

津市出産・子育て応援事業

令和5年1月から事業開始

令和4年12月23日

国の出産・子育て応援交付金 1,267億円（令和4年度第2次補正予算）

伴走型相談支援

（令和4年11月22日 厚生労働省 自治体向け説明会資料 抜粋）

妊娠期
妊娠8～10週前後

面談（＊1）

妊娠期
妊娠32～34週前後

面談（＊2）

出産・産後

面談（＊3）

産後の育児期

随時の子育て関連イベント等の情報発信・
相談受付対応の継続実施（＊4）

【実施主体】

子育て世代包括支援センター（市町村）
（NPO等の民間法人が実施する地域子育て
支援拠点等への委託を推奨）

伴走型相談支援

（＊2～4）SNS・アプリを活用したオンラインの
面談・相談、プッシュ型の情報発信、
随時相談の実施を推奨

- （＊1）子育てガイドと一緒に指差し確認
出産までの見通しを寄り添って立てる
- （＊2）夫の育休取得の推奨、両親学級等の紹介
産後サービス利用と一緒に検討・提案等

身近で相談に応じ
必要な支援メニューにつなぐ

- （＊3）子育てサークルや父親交流会など、悩みを共有
できる仲間づくりの場の紹介、産後ケア等サービス、
育休給付や保育園入園手続きの紹介等

ニーズに応じた支援（両親学校、地域子育て支援拠点、産前・産後ケア、一時預かり等）

経済的支援

・妊娠届出時（5万円相当） ・出生届出時（5万円相当）

【経過措置】

- ・令和4年4月1日～事業開始前に出産した人→10万円相当を一括支給
- ・事業開始時点で妊娠期にある人→事業開始後に妊娠期の5万円相当を支給し、出生届出後に5万円相当を支給（妊娠期に応じ、出生届出後に一括支給でも可）

津市出産・子育て応援事業（令和4年12月22日議決）

国の出産・子育て応援交付金（令和4年度第2次補正予算）を活用し、津市は令和5年1月1日から、これまでの妊娠届出時・赤ちゃん訪問時の**伴走型相談支援を拡充**し、新たに妊娠8か月頃の面談をスタートします。

また、経済的支援として、令和4年度は**迅速に給付するため現金給付**を行い、それらを組み合わせて一体的に実施します。

予算額 2億3,590万円（補助率 国2/3、県1/6、市1/6）

事業費（2億2,420万円）

妊婦 1人当たり 5万円

新生児 1人当たり 5万円

令和4年4月1日から12月31日までに
妊娠された人・出産された人 **3,617人**

令和5年1月1日から3月31日までに
妊娠された人・出産された人 **867人**

事務費（1,170万円）

電算業務委託料、人件費、通信運搬費等

経済的支援 支給までのスケジュール①

1 令和4年4月1日から12月31日までに妊娠された人・出産された人 (対象者:3,617人)

令和5年
2月中旬～

津市から案内文書等を送付

令和5年
2月下旬
(随時受付)

申請書・アンケートを記入して返信用封筒による返送

第1回支払スケジュール

内容の確認

令和5年
3月中旬

ご希望の口座へ給付金を振込

※ 以降、受付から概ね2週間から3週間程度で指定口座に振り込みます。

経済的支援 支給までのスケジュール②

2 令和5年1月1日から3月31日までに妊娠された人・出産された人 (対象者:867人)

令和5年
1月4日～

妊娠届出後実施する面談時にアンケートを実施。
案内文書等は2月中旬に送付。
出生届出後実施する面談は2か月後の3月頃から
開始し、面談時に案内文書等を配付。

申請書受領後

申請書を記入して返信用封筒による返送

第1回支払スケジュール

内容の確認

令和5年
3月中旬

ご希望の口座へ給付金を振込

※ 以降、受付から概ね2週間から3週間程度で指定口座に振り込みます。

伴走型支援 面談の流れ

妊娠届出時
1回目の面談

アンケートの記入、妊娠期のサービス等を一緒に確認しながら、相談、支援を行う

新規
妊娠8か月頃
2回目の面談

妊婦が返送したアンケートにより、面談希望者と面談（訪問、来所、オンライン面談など）、出産後の見通しを寄り添って立てる（令和5年3月面談開始予定）

出産・産後
2か月頃
（赤ちゃん訪問）
3回目の面談

アンケートの記入、利用できる母子保健サービス、相談機関、子育てひろば、子育て支援センター等を紹介し、妊婦や家族を含め相談、支援を行う

※ 伴走型支援の面談は、保健師・助産師等が行います。

実施体制

出産・子育て応援チーム（リーダー こども政策担当参事）

伴走型相談支援

面談

申請受付

サブリーダー

健康医療担当参事

経済的支援

給付

こども支援課長

他課応援職員

システム構築・対象者抽出・管理

健康づくり課管理担当副参事

令和5年度以降は新たな体制を整備します。

問い合わせ窓口



健康福祉部こども支援課

TEL : 059-229-3284

FAX : 059-229-3451

健康福祉部健康づくり課

TEL : 059-229-3310

FAX : 059-229-3346

〒514-8611 津市西丸之内23番1号



“振り込め詐欺”や“個人情報の詐取”にご注意ください。

ご自宅や職場などに都道府県・市区町村や厚生労働省（の職員）などをかたった不審な電話や郵便があった場合は、お住まいの市区町村や最寄りの警察署（または警察相談専用電話(#9110))にご連絡ください。

津市長が選ぶ 令和4年市政の10大ニュース



令和4年12月23日

津市長が選ぶ令和4年市政の10大ニュース一覧

1 地域脱炭素宣言
～民間との連携事業を展開～

2 榊原温泉湯の瀬新築オープン

3 新型コロナウイルス感染症、原油価格・
物価高騰に対する市独自の支援策を展開

4 津西ふれあい会館新築

5 広域避難計画の策定

6 河芸こども園開園

7 津花火大会、ビーチバレーin御殿
場、津まつり 3年ぶりに開催

8 上富良野町との友好都市提携
25周年

9 津市スポーツ振興基金を活用
したスポーツ振興を開始

10 地域懇談会の再開

1

地域脱炭素宣言 ～民間との連携事業を展開～

8月19日 津市地域脱炭素宣言

地域の未来に責任を果たすべく、カーボンニュートラルの実現に向けて
取り組んでいくことをコミットメント

8月19日 「津市地域脱炭素宣言」を発表

8月19日 協栄J&T環境株式会社、サントリー食品インターナショナル株式会社、サントリーホールディングス株式会社と「カーボンニュートラルの実現に向けたプラスチック資源循環の推進に関するパートナーシップ協定」を締結

9月30日 株式会社百五銀行と「カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素経営の推進に関するパートナーシップ協定」を締結

11月14日 河田フェザー株式会社、社会福祉法人三重県共同募金会津市共同募金委員会、社会福祉法人津市社会福祉協議会と「カーボンニュートラルの実現に向けた羽毛製品リサイクルの推進に関するパートナーシップ協定」を締結



今後もパートナーシップ協定の締結を拡大

2

榊原温泉湯の瀬新築オープン

8月28日、民間事業者のノウハウを活用する**DBO方式(公設民営方式)**により整備した榊原温泉湯の瀬が**新築オープン**

昭和63年開設の旧湯の瀬は令和3年11月の閉館までの33年3か月で延べ640万人(ピーク時の年間利用者数は27万人)が利用。老朽化による再整備が必要とされた

日帰り温浴施設に加え、オートキャンプ場、バーベキュー施設、レストラン、直売所、観光旅行が困難な障がい者や介助が必要な高齢者の利用に限定した福祉型滞在施設を整備



温浴棟 浴場



福祉型滞在施設

事業費

12億63万円

利用者数(11月末現在)
(温浴施設と福祉型滞在施設)

47,569人

3

新型コロナウイルス感染症、原油価格・物価高騰に対する 市独自の支援策を展開

感染拡大、物価高騰が市民生活・地域経済へ大きく影響

市独自の支援策で即応

新型コロナウイルス感染症に対する 支援策

生活者支援

臨時休業措置等に伴う 家計特別支援金

小中学校等の出席停止等の
日数に応じて1人につき1万
円・2万円の支援金を交付



事業費 7,560万円

事業者支援

プレミアム付デジタル 商品券(つデジ)

20%のプレミアム付きの
デジタル商品券を発行



発行総額 20億4,000万円

原油価格・物価高騰に対する 支援策

生活者支援

子育て家庭物価高騰 対策支援金

子育て家庭に対し、児童1人
につき1万2千円を給付

事業費 4億9,038万円

障害者支援施設・介護保険 施設等運営支援金

光熱費の上昇により施設の
運営経費が増加している施設
に1万円～10万円の支援金
を交付

事業費 2,081万円

事業者支援

小規模企業者原油価格高騰 対策事業継続支援金

原油価格高騰の影響を受け
ている事業者に事業継続を
支援するため5万円・10万円
の支援金を交付

事業費 6,400万円

肥料価格高騰農業者支援金

肥料価格高騰の影響を受け
ている農業者に5千円～10
万円の支援金を交付

事業費 3,703万円

4

津西ふれあい会館新築

6月1日、津西地区の集会施設を拡充するため
津西ふれあい会館が**新築**オープン



研修室1・2



研修室3



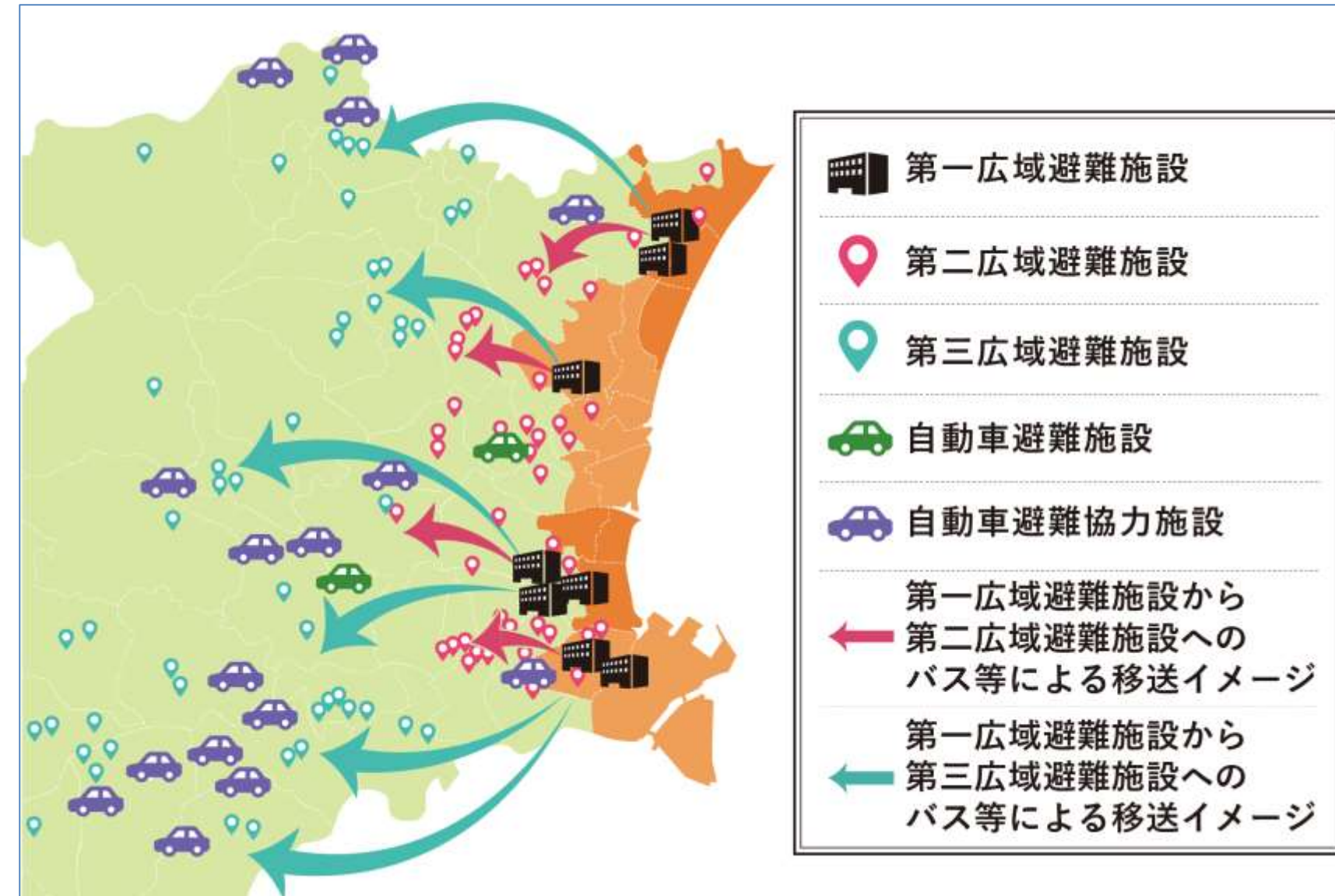
事業費

2億2,822万円

利用状況(11月末現在)

利用件数	533件
利用者数	6,461人

南海トラフ地震による津波から避難する際の目指すべき避難所等や避難者の移送体制の確保など、本市の特性を生かした**広域避難の具体的な対策**を定めた広域避難計画を**3月**に策定



令和2年3月
津市広域避難方針策定

広域な面積を有する本市の地域特性を生かした広域避難の基本的な考え方を整理

令和4年3月
津市広域避難計画策定

今後、避難スペースのさらなる確保に努めつつ、市民等への周知・啓発

円滑な広域避難の実施へ

6

河芸こども園開園

4月1日、市立6つ目の幼保連携型認定こども園 河芸こども園が開園

上野幼稚園

豊津幼稚園

上野保育園

3つの幼稚園・保育園を一つに

乳児棟



幼児棟



事業費

6,927万円

利用者数

95人(R4.11.1現在)

7

津花火大会、ビーチバレーin御殿場、津まつり 3年ぶりに開催

新型コロナウイルス感染症対策を行い、**3年ぶり**に開催

津花火大会

7月30日、「Withコロナ
時代のプロローグ」として
開催



来場者 8万人

ビーチバレーin御殿場

8月20日、県内外から
107チームが参加し開催



来場者 1,000人

津まつり

10月7日・8日・9日、
「津まつりでまた逢える」
をキャッチコピーに開催



来場者 18万人

上富良野町との友好都市提携25周年

上富良野町が開基100周年を迎えた年（平成9年）の7月30日に
旧津市と上富良野町が友好都市提携を締結。

令和4年度は、**友好都市提携25周年**を迎え様々な記念事業を実施

7月16～18日	津市長が上富良野町を訪問
7月21～23日	姉妹校交流 (安東小学校と上富良野西小学校)
7月25～8月12日	友好都市写真パネル展開催
7月30・31日	三重県首都圏営業拠点「三重テラス」 つディで友好都市展開催
8月11～16日	ボートレース津記念レース開催
10月8～10日	斎藤繁 上富良野町長が津市に就任後初来訪
10月8日～	「友好都市Twitter」運用開始



つディでの友好都市展の様子

9

津市スポーツ振興基金を活用したスポーツ振興施策を展開

令和4年度から5年間にわたり集中的に競技スポーツ・
パラスポーツ・生涯スポーツの振興に取り組むため、
スポーツ振興基金（2億5千万円）を創設

基金活用によるスポーツ振興施策を展開

競技スポーツの振興

市内競技団体の活動を支援



基金を活用した講習会の様子

18団体を支援

交付決定額1,345万円(11月末時点)

パラスポーツの振興

パラスポーツの活動を支援



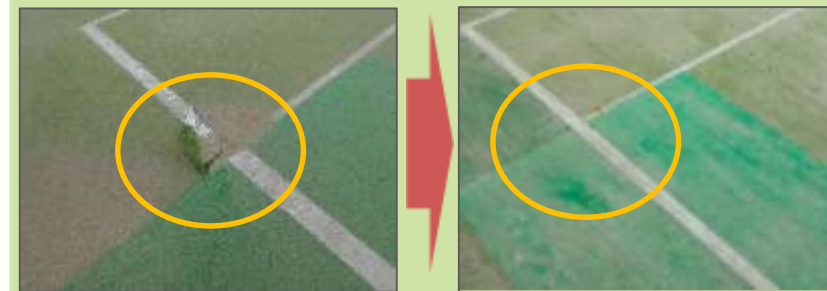
基金を活用した大会の様子

2団体を支援

交付決定額99万円(11月末時点)

生涯スポーツの振興

日常のスポーツライフを支援
(スポーツ施設を修繕)



テニスコートの人工芝の修繕

延べ29施設を修繕

契約金額1,711万円(11月末時点)

平成27年10月から開催し、新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた**地域懇談会**を**7月3日から再開**

開催実績

第1期の平成27年10月1日から第8期目の途中の令和2年2月19日までに**260回**開催。地域で活動する団体の代表者数延べ**1,898人**、会場参加者数延べ**4,861人**の合計**6,759人**が参加

開催成果

$$\frac{\text{解決・合意した案件数}}{\text{課題数}} = \frac{\text{約}2,900}{\text{約}3,700} = \text{約}78\% \text{ (R4.6.20時点)}$$

新型コロナウイルスの影響により第8期目の途中から休止

7月3日、北立誠地区から再開

再開後の
開催状況
(11月末現在)

開催地区 24地区
参加者数 467人
(代表者165人、会場参加者302人)



北立誠地区地域懇談会の様子